



## 1. 計画改定の背景と目的

### 改定の背景

本市では2019年度にペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画を策定し、計画的な維持管理を行ってきました。施設の老朽化や、変化する社会情勢、環境の中で、今後も持続的な維持管理を行うため、計画を見直す必要があります。

### 改定の目的

施設の現状を正確に把握し、「新技術の活用」等の新たな維持管理の考え方を検討した上で改定し、より効率的・効果的な維持管理の実現を図ります。(計画期間:2023年~2072年)

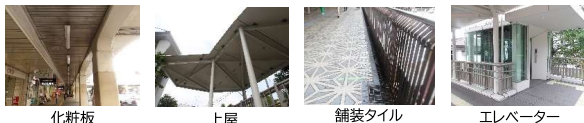
## 2. ペDESTリアンデッキの現状

### 管理施設数

- 本市が管理するペDESTリアンデッキの施設数は17施設です。2022年度に玉川学園前駅に1施設新設されました。

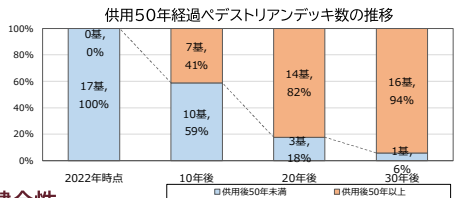
### ペDESTリアンデッキの特徴

- ペDESTリアンデッキは他の道路構造物に比べ、化粧板、上屋、舗装タイル、昇降機等の付属物が多くあるため、個別の条件に応じた維持管理手法の導入が求められる施設です。



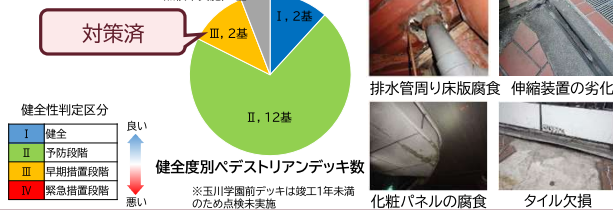
### 施設の架設年

- 1980年代に竣工したデッキが最も多く、施設の3/4にあたる11基がこの時期に竣工しました。
- 2032年には供用から50年を超える施設が7基(全体の約40%)となり、老朽化の進展が予測されることから、修繕・架替えに要する経費が多くなることが懸念されています。



### 施設の健全性

- 定期点検の結果、健全性Ⅲ(早期措置段階)の施設が2基ありましたが、既に対策を実施済みです。
- 伸縮装置、排水管、排水溝等の排水機能の劣化により主部材(主桁、横桁、床版)や化粧パネルの腐食が発生する施設を確認しました。



## 3. 検証事項

### 1 新技術等の活用について

- コスト縮減や効率化に資する新技術等の適用性を検証し、適用の可能性がある施設を整理しました。
- 今後新技術等の活用により約1%のコスト縮減を目指します。

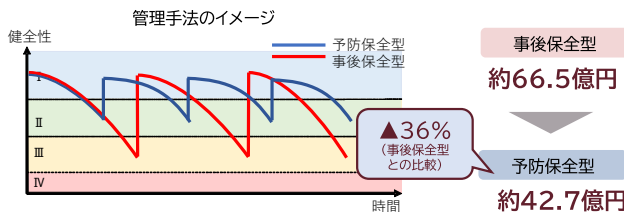
適用範囲の決定	新技術の抽出	適用する施設の抽出	コスト縮減効果算出
「点検」と「修繕」について適用を検討する	・ローリングタワーの代替技術 ・化粧板に設置された点検口からの目視代替技術	・左記の新技術が適用できる施設	・点検コストは縮減効果が薄いが、効率化につながる可能性
点検			
修繕	・本市で多く見られる損傷内容、主な部位における補修工種から抽出 ・メンテナンス性の高い素材の活用	・今後10年間で修繕する施設	・従来工法と比較して約1%のコスト縮減を目標

### 2 集約化・撤去について

- 本市のペDESTリアンデッキは全て駅前に位置しており、駅や商業・公共施設と接続しているため、生活に欠かせない施設です。
- 町田駅周辺の施設は、多摩都市モノレール町田方面延伸による新駅整備を見据えるとともに、まちの再整備に合わせてペDESTリアンデッキの適正配置を検討します。

### 3 適切な管理手法によるコスト縮減効果

- 予防保全型の長寿命化修繕計画を実践することで50年間のLCC\*は約36%(約23.8億円)のコスト縮減効果が期待されます。



管理手法	対策内容
予防保全型	健全性Ⅱ以上を維持するため損傷が軽微なうちに計画的に修繕を行う
事後保全型	施設が使用限界レベルに達した時点で比較的大規模な修繕を実施する

\*LCC:Life Cycle Cost 施設維持に係る生涯コスト

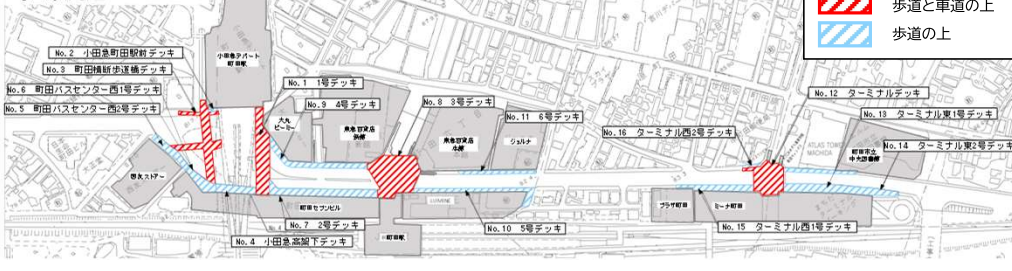
### 施設の位置図

- 町田駅周辺に16基、玉川学園前駅周辺に1基設置されています。

### 玉川学園前駅周辺



### 町田駅周辺



## 4. 長寿命化における基本方針

### 1 老朽化対策における基本方針

#### 点検、診断の実施による損傷の早期発見と健全性の把握

- 変状の早期発見及び安全性の確保を目的とした日常点検を随時実施します。
- 止水対策など、劣化要因の除去を積極的に行い、劣化進行を抑制します。

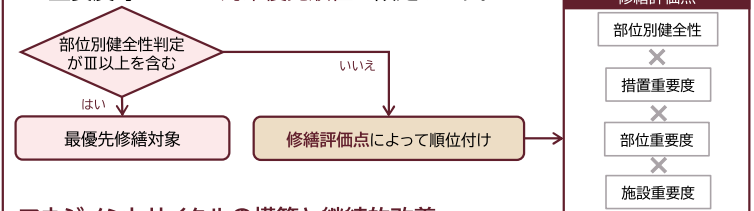


日常点検にて滞水等の解消を実施

### 2 費用縮減に関する基本方針

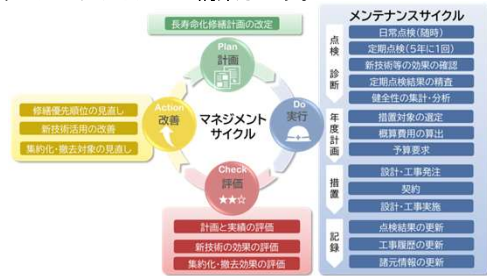
#### 特徴に応じた効率的な維持管理の実施

- 修繕の効率性を考慮した「修繕グループ」を設定し、部位単位の健全性や重要度等によって対策優先順位を設定します。



#### マネジメントサイクルの構築と継続的改善

- 「計画」に基づいた年間メンテナンスサイクルの「実行」を「評価」、「改善」まで行うマネジメントサイクルを構築します。



## 5. ご意見を頂いた学識経験者

本計画の策定にあたり、東京都立大学 都市環境科学研究科 都市基盤環境学域 中村一史准教授にご指導いただきました。